

稲作だより

第5号 本田初期水管理偏
令和7年5月29日

最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1333

苗の充実度が低い、乾土効果は小さい
初期生育確保のための浅水管理を！
土壌の異常還元（ワキ）に備えて水管理で対策！

◎ 苗調査結果および乾土効果 ～初期生育確保に不利な条件～

普及課の生育診断圃の苗調査結果では、草丈は平年並～長いものの、乾物重が軽く、**苗の充実度が低い**状況です。また、**乾土効果は「小さい」**と推定されていることから、初期生育確保に不利な条件となっています。

そのため、例年以上に適切な水管理をすることが重要です。

表1 苗調査結果

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	葉数 (枚)	地上部乾物重 (g/100本)	充実度 (mg/cm)
はえぬき (新庄市泉田)	本年	16.6	3.1	2.01	1.21
	平年	16.8	3.3	2.20	1.29
	平年比・差	99	-0.2	91	94
つや姫 (舟形町富田)	本年	13.7	2.2	1.22	0.89
	平年	12.8	2.4	1.60	1.21
	平年比・差	107	-0.2	76	74
あきたこまち (最上町向町)	本年	20.3	3.6	2.63	1.29
	平年	14.2	3.3	2.10	1.49
	平年比・差	143	+0.3	125	87

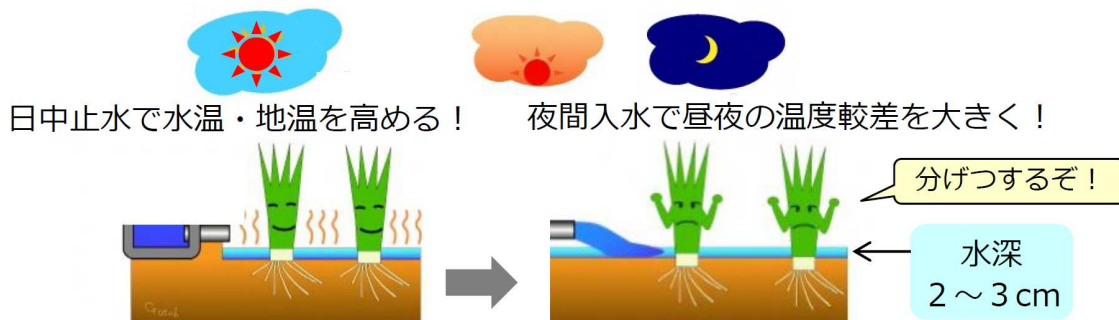
草丈に対する乾物重が
軽いため、充実度が低い
傾向（苗が細い）。

◎ 浅水管理の徹底 ～活着後は水温・地温を高めて莖数増加促進～

活着後：水深2～3cm

浅水管理・日中止水で、できるだけ水温・地温を高め、分げつの発生を促しましょう！
日中の水温を下げないように、入水は夜間もしくは早朝におこないます。

※ただし、低温強風時は水深4～5cmにして稲体を保護。



ばか苗病の発生が多かった場合、育苗器具・資材に菌が残っている可能性があるため、次年度に備えて、育苗箱やビニール、浸種おけ、育苗器、催芽器（循環部含む）等を消毒用資材で洗浄・消毒しましょう。

◎土壌の異常還元（ワキ）対策 ～こまめな水管理を～

ワキ対策のポイント

①一発除草剤散布前の水交換

一発除草剤散布後の止水期間にワキが強まることを見越し、あらかじめ**1～3日の田干し**や**水交換**を行います。

②ワキの程度に応じた水管理

ワキによる根の生育阻害や窒素吸収、分げつ抑制を回避するためには、稲に異常が見え始める前の「早めの対策」が重要です。気泡の発生状況や気温予報を考慮して、ワキの発生程度に応じ**1～3日の田干し**、**夜間落水**、**水交換**を行いましょう。

ワキを抑える水管理のイメージ図

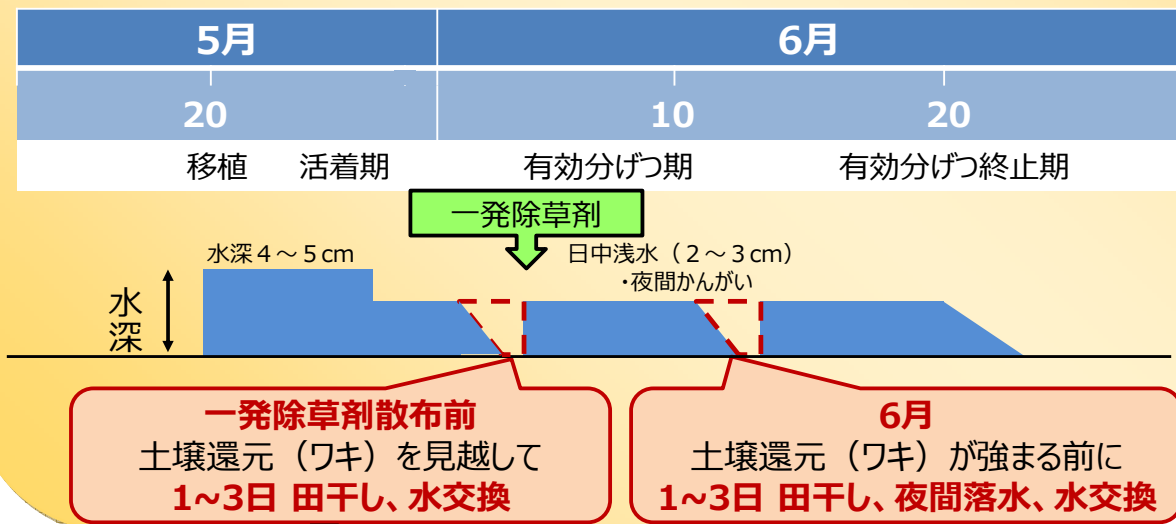


写真1 田干しの有無による本田の稲の違い
上：田干し有り
下：田干し無し（6月上旬、ワキの強い圃場）



写真2 田干しの有無による根の違い
（6月10日）

田干しをすることで、下位葉の黄化が少なく流れ葉とならず、表層剥離も抑制できます。

除草剤散布から7日間止水後であれば、田干しを行っても除草剤の効果は低下しません
詳細は、令和5年度 目で見える試験研究成果

「水田土壌異常還元（ワキ）時における水稻生育初期の落水管理の効果」
をご覧ください。

